

異分野融合のはじめかたセミナー

第6回 異分野融合のはじめかた
6.20 2024 17:30 THU 18:45

オンライン開催

対象 異分野融合型研究に関心のある方
※九州大学構内組織研究推進本部の賛同協賛会としても開催される

プログラム

- セミナー1 / 17:30-18:00
異分野融合による再生材料の実用化への取り組み
 国立研究開発法人 物質・材料研究機構 菊池 正紀 氏
- セミナー2 / 18:00-18:30
異分野テクノロジー連携による信頼と社会実装
 産大工学 WPI ナノ生命科学研究所 特任教授 松本 邦夫 氏
(特) ビジネスインキュベイト 代表取締役
- 質疑応答 / 18:30-18:40
AMED「橋渡し研究プログラム」のご紹介
 九州大学生命科学基盤新実用化拠点構築推進部門 特任助教 池元 英樹 氏

申し込み 下記のフォームからお申し込みください。
 申し込み完了時に自動返信でZoomの接続URLをお送りします。
<https://ceasmed.kyushu-u.ac.jp/medas/forays/?t=URLRNRNF64J2NUJ>

問合せ先

- 九州大学 生命科学基盤新実用化拠点 構築推進部門
 E-mail: med-info@med.kyushu-u.ac.jp TEL: 092-642-4802 池元
- 九州工業大学 インノベーション本部 産学イノベーションセンター
 E-mail: iare-office@cc.kyutech.ac.jp TEL: 093-884-3674 米廣

主催
 九州大学病院 ABO 次世代医療センター 九州大学生命科学基盤新実用化拠点
 九州工業大学 先端研究・社会連携本部 産学イノベーションセンター

第7回 異分野融合のはじめかた
11.21 2024 17:00 THU 18:15

オンライン開催

対象 異分野融合型研究に関心のある方
※九州大学構内組織研究推進本部の賛同協賛会としても開催される

申込方法
 下記のフォームから申し込みください。
 申し込み完了時に自動返信でZoomの接続URLをお送りします。

プログラム

- セミナー1 / 17:00-17:30
歩行映像を用いた運動器疾患の鑑別～異分野融合が切り拓く研究から臨床への道～
 九州工業大学 大学院情報工学研究院知能情報工学研究系 准教授 武村 紀子 氏
- セミナー2 / 17:30-18:00
九大・先端医療オープンイノベーションセンターにおける異分野融合～ナノ材料からデバイス開発～
 九州大学 先端医療オープンイノベーションセンター 助教 村田 正治 氏
- 公開説明会 / 18:00-18:15
医療技術創出プログラムのご紹介
 九州大学 生命科学基盤新実用化拠点構築推進部門 特任助教 池元 英樹 氏

お問い合わせ

- 九州大学 生命科学基盤新実用化拠点 構築推進部門 池元
 E-mail: med-info@med.kyushu-u.ac.jp TEL: 092-642-4802
- 九州工業大学 インノベーション本部 産学イノベーションセンター 米廣
 E-mail: iare-office@cc.kyutech.ac.jp TEL: 093-884-3674

主催
九州大学病院 ABO 次世代医療センター 九州大学生命科学基盤新実用化拠点
 九州工業大学 先端研究・社会連携本部 産学イノベーションセンター

第8回 異分野融合のはじめかた
2025年7月1日(火)
17:30 18:50

オンライン開催

対象 分野、学部問わず 異分野融合型研究に関心のある方
※九州大学構内組織研究推進本部の賛同協賛会としても開催される

プログラム

- 17:30-18:00 / 講演1 「コンバーGINGテクノロジーによる社会課題解決の取組み 医療分野への応用事例の紹介」
 富士通 コンバーGINGテクノロジー研究所 ソリューションデジタルイノベーション シニアプロジェクトディレクター 緒又 明大氏
- 18:00-18:40 / 講演2 「医工連携はなぜ難しいのか」
 ソニア・セラピューティクス株式会社 岡本 淳氏
- 18:40-18:50 / 「AMED 橋渡し研究プログラム」の説明
 九州大学 生命科学基盤新実用化拠点構築推進部門 井上 修平

主催
 九州大学病院 ABO 次世代医療センター 次世代の九州がんプロ養成プラン 事業運営推進協議会
 九州大学 生命科学基盤新実用化拠点 産学イノベーション本部
 九州工業大学 インノベーション本部

問い合わせ先
 九州大学 生命科学基盤新実用化拠点 構築推進部門 池元
 E-mail: med-info@med.kyushu-u.ac.jp 電話: 092-642-4802
 九州工業大学 インノベーション本部 産学イノベーションセンター 米廣
 E-mail: iare-office@cc.kyutech.ac.jp 電話: 093-884-3674

異分野研究者から見た融合研究の障壁

- 目標の相違
- 言葉の違い
- 文化の違い

目標の相違

- 医療: 目的ベース
- 治療成績等、分かりやすい目標に向かって実施される。
- 工学: 技術の新規性が重要。既存技術の応用は、工学系論文誌で必ずしも高い評価とはならない。

医療ニーズの解決に最先端の技術が必ずしも必要となるわけではない。

第8回「異分野のはじめかた」の講演スライドをもとに作成

言葉の違い

- 工学系の専門用語と医療系の専門用語は重ならないものが多い。
- 工学系の研究者は術式は勿論、骨の名前だって全部知らない場合が多い。
- 医師は材料の名前は知っていても、どういう性質を持っているかの説明のための言葉を理解できないことがある。

第6回「異分野のはじめかた」から一部抜粋

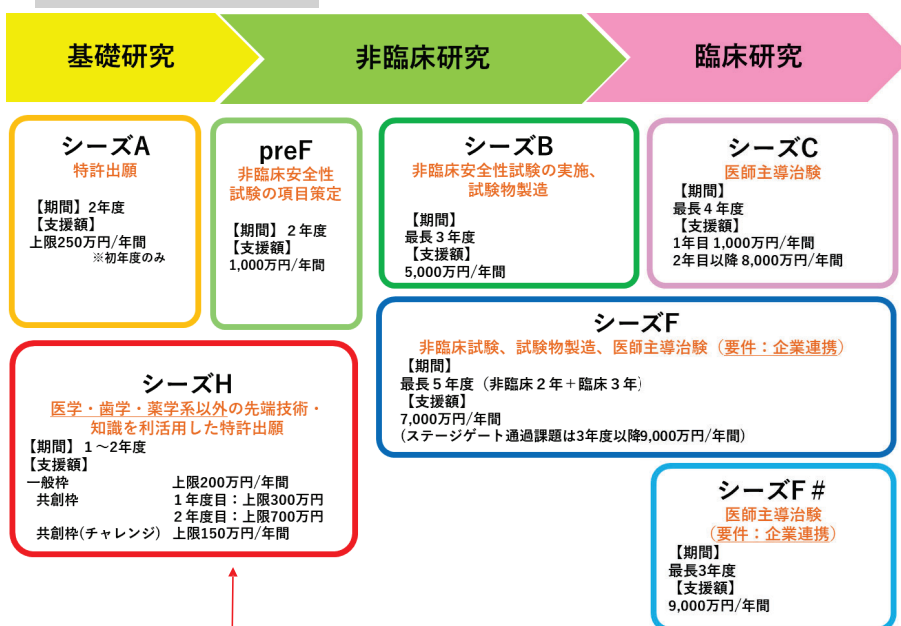
文化の違い

- 研究分野ごとに、多少文化が違うため、共同研究の進め方に戸惑う。
- 例えば、材料の分野でも、他の材料分野からは、生体材料研究者が細胞培養や動物実験を行うことに対して違和感を持つらしい。
- 自分の場合は、学生時代から医師や歯科医師などと交流を持っていたため、大きな障壁にはならなかったが、ある程度キャリアを積んだ後だと大変かもしれない。

第6回「異分野のはじめかた」から一部抜粋

AMED橋渡し研究プログラム

橋渡し研究プログラム



伊都キャンパスの研究者(工学系や農学系)からの話

・医療応用に向けた研究をしたいが、コネクションがない。医療系の先生と橋渡しをしてほしい・・・

シーズH(医歯薬以外を対象)

どうやって異分野融合を成功させるか？

- みんなでしあわせになろうよ！
と、全員がお互いをリスペクトし合うことがまず大事。
そうすれば、文化の違いや言葉の違いも乗り越えられる。
- お互いの技術・サイエンス・カルチャーを尊重

- 同じ日本人同士でも、お互い外国人だと思って交流していくのが良いかもしれない。

第6回「異分野のはじめかた」から
一部抜粋

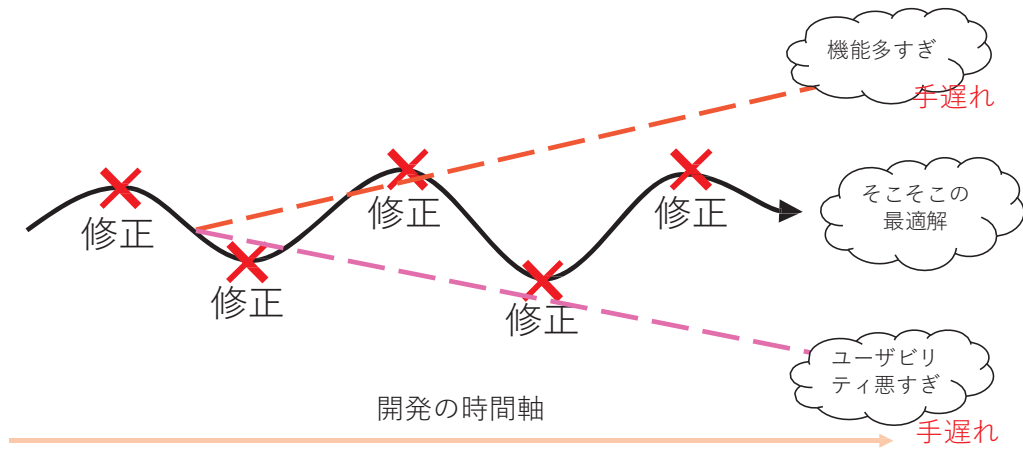
相互理解のためのコミュニケーションが不可欠

- 他の領域の人に解る言葉で話す

- 対等な立場でディスカッションする。

- 距離が離れているため、共同研究開始当初は、できれば対面で打合せをする。

プライドが正解への遠回りとなる



ほとんど相談せずに物を作ってしまう

なぜか

未熟なプロトタイプを見せたくない